

芸術と文化

について



現在ポルトガルとなっているこの土地は、人が入植してから数千年、国境が設定されてから8百年の歳月が経過しています。この長い歴史は特定の文化に反映されています。それは、ここに入植した多くの人々と、大航海時代の旅の途中でポルトガル人が出合った人々が融合した結果生まれたものです。

それは村や町の中に、ポルトガル人が独創的に取り入れた影響が1つになったモニュメントや伝統の中に見ることができます。また、どちらを向いてもそこにある海も、私達の個性を形成しており、私達がヨーロッパ大陸を越え、他の世界について学び、共有することを可能にしてくれました。



Torre de Belém©Turismo de Lisboa

マヌエル様式の芸術、タイル、ファド (fado) は、ポルトガルならではの表現であり、正真正銘のシンボルですが、世界遺産にも貢献しています。ポルトガルには、モニュメントや風景、無形遺産など、ユネスコにより世界遺産に登録されたものが24あります。



Azulejos Palácio Pereira Forjaz ©António Sacchetti

地域や旅程、あるいは具体的なテーマを選ぶことにより、ここだけの遺産やさまざまな風景を見つけることができます。それらはすべて短い距離の中にあり、そこには本物の現地の風習が今なお残っています。さらに、あなたのツアーは地方の宿泊所で伝統料理や習慣ともいえるホスピタリティで完璧なものになるでしょう。